

じっくりと取り組みたいことです。

歩いて生活できる街づくりを。

平沢の田んぼであったところに、今年6月から大型店舗群が開店しました。嵐山町は、役場庁舎をはじめ、自動車で移動することに主眼をおいた街づくりで、街中が空洞化しています。もう一度、歩く人を主体にした街づくりを考えましょう。

人々の突然の危機に対応できるシステムを。

阪神大震災で被災者支援法が成立しました。私達の生活は交通事故、震災、火災、洪水被害、犯罪、原発事故、戦争、地球環境の悪化による被害と予期しない出来事が起こります。被害にあうと、危機対応ができてないことに気付かれます。日本では、あらゆる被害に対しての危機対応、支援システムができていません。危機対応できるシステムを、考えていきます。

男女役割分担意識を平等意識に変革していく。

嵐山町の女性行動計画では男女混合名簿の推進をうたっていますが、意識変革がむずかしいのです。男女別名簿は男女区別ではなく、男女差別であると感じる必要があります。

男の子は黒、女の子は赤いランドセルという固定観念を変えていきましょう。女性への夫・恋人からの暴力や、セクハラ、女性の賃金が男性に比べて低いこと等の解決する道筋です。

緑のトラストを増やしましょう。

コリンズCCゴルフ場計画地を県や町で自然保全すべきです。

